

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	環境と社会	
科目基礎情報							
科目番号		0005		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		電気情報工学科		対象学年		1	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		基本地理A(二宮書店)、地図帳					
担当教員		川崎 有里紗					
到達目標							
1. 地図・統計資料を読み取ることができる 2. 持続可能な地域づくりを進めるに際して、さまざまな地域の実態を認識できる 3. 世界各地と日本との結びつきを認識できる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1		地図・統計資料を読み取ることができる		地図・統計資料を基本的に読み取ることができる		地図・統計資料を読み取ることができない	
評価項目 2		持続可能な地域づくりを進めるに際して、さまざまな地域の実態を認識できる		持続可能な地域づくりを進めるに際して、さまざまな地域の実態を基本的に認識できる		持続可能な地域づくりを進めるに際して、さまざまな地域の実態を認識できない	
評価項目 3		世界各地と日本との結びつきを認識できる		世界各地と日本との結びつきを基本的に認識できる		世界各地と日本との結びつきを認識できない	
学科の到達目標項目との関係							
A							
教育方法等							
概要		現代社会は環境（自然的、政治・経済的、文化的）によって日々変化し、人類の生存に関わる深刻な問題につながる可能性もある。 この授業では、さまざまな地理的事象から国内の各地域や、世界と日本との関係などを学習し、現状と課題、これからの社会のあり方を考察する。					
授業の進め方・方法		プリント、視聴覚教材を用いた授業を行う。地理的感覚を養うため地図・統計資料も活用する。授業の最後は内容についてまとめ、自分の考えを文章にする。					
注意点		日頃から新聞、ニュースを見るようにすること。 地域が抱える問題について理解することが重要。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	環境と社会について		授業内容を理解できる。		
		2週	和歌山の環境と社会について①		授業内容を理解できる。		
		3週	和歌山の環境と社会について②		授業内容を理解できる。		
		4週	和歌山の環境と社会について③		授業内容を理解できる。		
		5週	都市大阪を読み解く		授業内容を理解できる。		
		6週	都市東京を読み解く		授業内容を理解できる。		
		7週	まちづくり、地域おこし		授業内容を理解できる。		
		8週	これまでのまとめ		授業内容を理解できる。		
	2ndQ	9週	交通と社会		授業内容を理解できる。		
		10週	都市と社会		授業内容を理解できる。		
		11週	自然災害と社会		授業内容を理解できる。		
		12週	資源・エネルギーと社会		授業内容を理解できる。		
		13週	世界から日本を考える①		授業内容を理解できる。		
		14週	世界から日本を考える②		授業内容を理解できる。		
		15週	環境と社会を考える 試験返却・解説		授業内容を理解できる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。		3	前1,前2,前11,前12
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。		3	前1,前2,前15
評価割合							
		定期試験		発表・課題・提出物		合計	
総合評価割合		70		30		100	
配点		70		30		100	